

## 「住吉の語り部となりたい」 シリーズ第17回

料亭つたも主人・深田正雄

2012年8月20日

### 歩いて楽しい栄ミナミ 楽しく愉快的仲間たちと街づくり活動

7-8年前に「栄ミナミ文化村フォーラム」というサークルがあり、毎月のように会合をして喧々諤々と討論をしていると聞いていました。もともと広小路より南寺町の大須にいたる地域は住吉と呼ばれ飲食店を中心とする繁華街として、昔から発展してまいりました。

ここによそ者があつまり、住吉地区を勝手に「栄ミナミ」と名付けた株式会社ゲインの藤井英明さんが呼びかけ人、イベント事業のサンデーフォークプロモーション桑原宏司さん、そして新進の広告会社・株式会社I & Qアドヴァタイジングの藤井一彦さんの3人が中心となり、若手のカリスマ飲食店設計士神谷利徳氏、ゼットン稲本健一氏など若手の気鋭創業者たちがいろいろ事業展開と街づくりをテーマに勉強会をしておりました。

その頃、フォーラムにゲストとして招かれ「ビックリ仰天！」したのが、キッカケとなり大きな栄地区活性化活動になってきております。兎に角、地元の町内とも無縁で居住したことのない所謂、「よそ者・変わり者」たちがボランティア魂旺盛で、熱心に栄ミナミの課題や展望を論じているではありませんか。コメントを求められた私は、年長でもあり開口一番「君たちよそ者が何をヤツトルカ！けしからんけど、素晴らしい。地元としても是非、協力したい。一緒にやろう！」と発言したのがスタートのようです。

戦後、飲食街を中心に発展した栄2-3丁目地区は暴力団対策、ぼったくりバー、客引き、違法カジノ、ホームレスなど治安への課題も多く、住吉にかけた名称「栄中部を住みよくする会」と呼ばれた地元町内連合会が1976年から幅広い治安改善活動をいたしておりました。その頃、同会の会長で株式会社五味西の佐藤嘉晃氏（昨年ご逝去）がナディアパークのコンセプト実施などで尽力されておりましたが、健康を害し後任に小生に白羽の矢！が飛びこんでまいりました。同会の幹部の若返りを条件にお引き受けすることとなりました。この地区は百貨店をメインとする物販店、料亭からラーメン・スナックバーなどの多岐にわたる飲食店、そして、公園と緑に恵まれた居住地区が独特にミックスしており、特に矢場町一丁目町内会など、活発な住民のチームワークで公園の美化や地域清掃、挨拶運動もユニークなものがありました。

「コミュニティーはセキュリティー」のテーマのもと、お互いが協力し合う祭りやイベントで一体化できないかと思案しているところへ、2007年3月6日には名古屋駅前トヨタミッドランドビル・オープンが予定され、栄商業地区として多くのお客様が流出するのではと危機感も高まってまいりました。

文化村のよそ者活動がストリートミュージックで栄の各町角でイベントをやろうという提案となり、2007年5月の第一回栄ミナミ音楽祭開催となりました。地元代表として栄ミナミ地域活性化協議会会長に担ぎ上げられてから、旧来の地元町内や住民と若手事業者との一体化にチャレンジしているのが現状といえます。

南呉服町の元料亭「楽らく」インペリアルビルを展開する白滝正人さん、矢場町で子供会活動にも熱心な野村忠司さん、南伊勢町のウエルビーグループを率いる米田行孝さんの若手が大活躍。そして、南大津通りの発展の礎づくりに奮闘され、今般設立の「栄ミナミ商店会連盟」会長勝田明さん、新体制となった「栄中部を住みよくする会」新会長多湖秀明さん（住吉町）の指導で物販・飲食・住民と調和のとれた町づくりに邁進しております。

近年は地元警察などの協力で、ホームレス、違法カジノ、客引き問題など改善するほか、各町内での清掃活動も活発化、監視カメラを設置して「歩いて楽しい栄ミナミ」作りはスタートしてまいりました。今後は駐輪対策、栄地区景観協定、街路灯・監視カメラの増設と統合、そして、栄ミナミのマスタープランに基づくイメージ統一、車道の緑化など仲間の協力で推進していきいと考えます。

名古屋開府400年の歴史と町衆文化を承継しつつ、よそ者、変わり者、若者のパワーで「栄ミナミ」が益々、若い女性がゆっくり歩いて楽しめる街づくりにチャレンジしたいと思えます。

今秋はNAGO-1グランプリ第2回目の開催など、毎週、地元協議会の仲間が昔の「学校祭」の心意気で楽しんでいる栄ミナミに今後もご期待下さい。

#### 栄ミナミ盆おどり@GOGO 第2回2010夏

左から、深田、藤井一彦、原田さとみ、ウクライナ留学生ニカ、藤井英明、後藤寿美、宮本忠博アナ



栄ミナミ音楽祭 第5回 2010, 5月

中央、鈴木雅之とともに右、白滝正人、前田利信

